

## まもなく洪水期です

大長見ダムでは6月16日から9月30日までを洪水期としています。洪水期とは、梅雨や台風などにより大きな洪水が予想される期間です。

洪水期間中は浜田市から発表される防災情報や、気象庁の天気予報等に気をつけてください。

また、最近では局所的な大雨が突然降り出すことがも少なくありません。上空で黒い雲が発生したり、雷が鳴ったりしたら河川の増水に注意しましょう。



## あの災害を忘れないで

島根県西部に壊滅的な被害を与えた昭和58年災害の発生から、今年で30年目になります。

昭和58年災害とは、活発化した梅雨前線がもたらした記録的な豪雨による水害のことで、特に島根県西部の浜田では、1時間降水量91.0mm（7月23日）、日降水量331.5mm（7月23日）を観測するなど記録的な大雨となりました。島根県西部を中心に、がけ崩れや土石流、洪水が相次いで発生し、100名を超える死者・行方不明者が出ました。



昭和58年災害の時の周布川（松本橋）



昭和58年災害の時の三隅川

想定を超えた豪雨はいつ起こるかわかりません。皆様がお住まいの地域の防災ハザードマップを基に、浸水した場合の避難場所・経路について事前に確認しておくなど、氾濫時に迅速に避難できるよう日頃から準備しておきましょう。

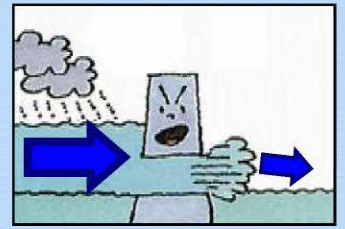
また、周辺の道路が水没している状況下での避難は大変危険です。たとえ避難勧告が出ていない場合でも、危ないと思ったら道路が水没する前に自主的に避難するようにしましょう。

# 大長見ダムからの警報について

次の場合は大長見ダムから警報を行います

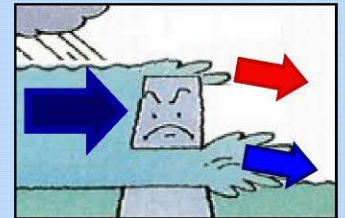
## ① 急な増水のおそれがある場合

上流で雨が急に強くなりダムから流れ出る水が急に増えると、**下流の川の水かさ**が急に増えることがあります。この恐れがある場合は、ダムから放送やサイレンを鳴らしますので、すぐに川から上がり、川に近づかないようにしてください。  
(この場合の警報区間は大長見ダム下流から長見ダムまでです。)



## ② ダムからの越流のおそれがある場合

大雨が長く続き大量の水がダムに流れ込むと、**流れ込んできた水がダムを越えてそのまま下流へ流れ出します**。越流前にダムから放送やサイレンを鳴らします。放送やサイレンが聞こえたら川に近づかず、市の発表する防災情報等に注意してください。



# ダム周辺施設の点検を行いました

5月14日にダム周辺施設の安全点検を実施しました。紅葉湖を安全に見学していただけるよう、浜田市役所と協力して行っています。



点検の様子です。



## 編集後記

今回は洪水期を迎えるにあたり、大長見ダムからのお知らせおよび過去の災害に関する記事を掲載しました。昭和58年災害の当時の被災資料を見ると、その被害の大きさには驚くばかりです。

30年を節目として今一度、防災に関する意識を高め、想定を超えた災害に備えましょう。

大長見ダムに関する疑問、質問等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

島根県浜田県土整備事務所

御部・大長見ダム管理課

〒697-0041 島根県浜田市片庭町254

TEL.0855-29-5674

浜田県土整備事務所URL：[http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada\\_kendo/](http://www.pref.shimane.lg.jp/hamada_kendo/)

(本誌バックカバーは浜田県土整備事務所トップ→「事業紹介」→「ダム」)



シマネスク島根